

フルハーフのメンテナンス

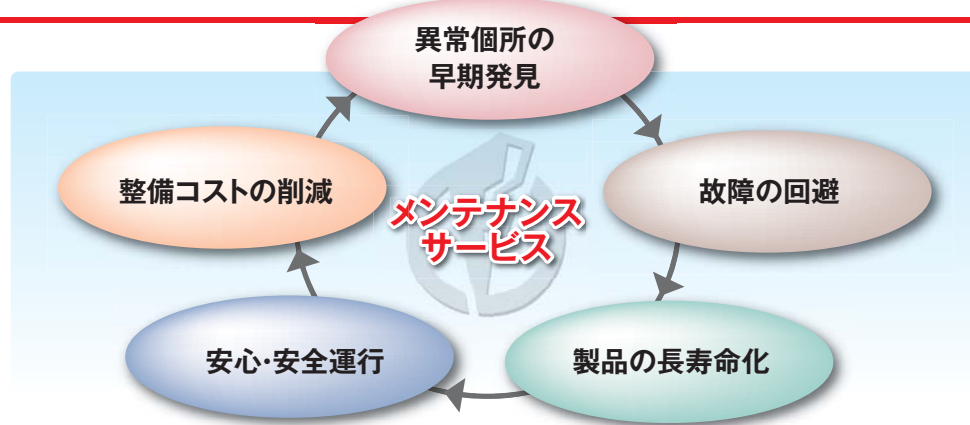


輸送効率の向上へ向けて、
安全・安心のメンテナンスサービス

メンテナンスサービス

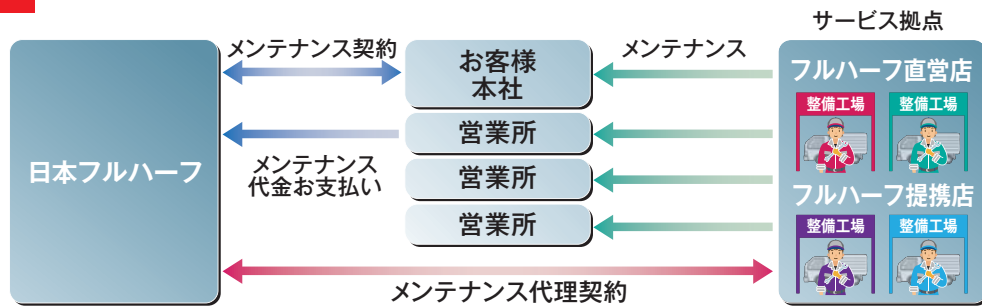
お客様の輸送品質・効率の向上を目指して、充実のメンテナンスサービスをご提案*。輸送荷物の損傷予防と稼働率の向上による荷主様からの信頼にお応えするために、徹底したサービスを提供しています。

*お客様にあったメンテナンスサービスメニューをご提案いたします。



メンテナンスサービスのフロー

メンテナンスサービスは、日本フルハーフがしっかりと技術指導し、メンテナンス契約を結んだ直営店、提携店で行います。また、日本フルハーフがお客様からのご要望をお聞きして、責任を持ってメンテナンスをサポートいたします。



フルハーフ純正部品の全国発送を行うパーツセンター

パーツセンターは、フルハーフ純正部品の全国発送を行っております。在庫している部品ならPM2:30までのご注文で当日出荷可能*。お客様の運行をサポートいたします。また、ご注文や部品についてのお問い合わせも随時対応しております。詳しくは弊社のホームページをご覧ください。

*製作品及び特殊部品は除く



日本フルハーフグループの全国ネットワーク

フルハーフはISO9001/14001の認証を取得し、環境にやさしく、高品質の製品と高信頼のサービスをお届けしています。

営業品目：アルミバン、保冷・冷凍車、ウイングトラック、各種トレーラ、各種コンテナ、各種部品、修理

本社：〒243-0281 神奈川県厚木市上依知上ノ原3034 046(285)3111(代)

営業部門：〒140-0001 東京都品川区北品川11-20-9(ダヴィンチ品川ビル) 03(3474)5720(代) (東京事務所)

生産拠点：苫小牧/厚木/滋賀/岡山/佐賀

販売拠点：北海道 011(723)8750 / 盛岡 019(672)5472 / 仙台 022(792)8630 / 新潟 025(243)0520 / 石岡 0299(24)1275 / 北関東 048(661)9051
東京 03(3863)8011 / 多摩 042(520)0045 / 神奈川 046(284)2107 / 静岡 054(285)3397 / 北陸 076(232)5588 / 名古屋 052(532)7051
阪神 06(6390)8257 / 岡山 0869(84)4300 / 広島 082(262)2005 / 四国 087(863)6078 / 九州 0952(53)8110 / 南九州 099(284)1634



URL <http://www.fruehauf.co.jp/>

FRUEHAUF Fan

2014 Vol.13

[フルハーフ・ファン]

特集 超大型オフロードタイヤ運搬トレーラ



STKA 株式会社 サンキュウ トランスポート・関西

【会社概要】

会社名：株式会社サンキュウ・トランスポート・関西
本社所在地：兵庫県西宮市西宮浜2丁目35番地4
設立年月日：1986年6月27日

代表取締役社長：高本 達男
従業員数：79名
保有車両台数：71台



代表取締役社長 高本 達男 氏



株式会社サンキュウ・トランスポート・関西 本社

お客様の製品を安全、効率的に運搬することが使命

物流・機工を融合させた独自のシステムとネットワークによって、お客様の物流をトータルにサポートする山九株式会社。プラント・エンジニアリング、ロジスティクス、オペレーション・サポートを有機的に結びつけ、物流事業をグローバルに展開。国内においては山九グループを形成し、地域に根ざした輸送サービスを提供している。

山九グループの一翼を担う株式会社サンキュウ・トランスポート・関西は、大阪府、京都府、兵庫県に5つの拠点を構え、石油化学製品をはじめ、機械・機器、雑貨、食品など様々な製品輸送を手がけている。ことに関西は国内有数の工業地帯と貿易港を抱えるエリア。同社では、通関業務や港湾荷役を含めた貿易貨物の取扱量が多いという。また機械設備や危険物など、特殊輸送にも柔軟に対応。グループで水平

展開されているマネジメントシステムに基づき、安全かつ高品質な輸送サービスを提供し続けている。

そんな同社が山九、日本フルハーフと共同で輸送機器を開発。それが本号で紹介する「超大型オフロードタイヤ運搬トレーラ」だ。かねてより同社では、兵庫県内の工場から神戸港や大阪港へ重機用の超大型オフロードタイヤを運搬してきた。しかし、全幅基準をオーバーするタイヤを運搬するには、通行許可の申請、夜間運行、誘導車の配置など制限が多い。さらに今後はタイヤのアイテム数、出荷量の増加が見込まれることから、同社は、より安全で効率的に運搬できる専用トレーラを開発することを決断。そして約2年半の歳月をかけて「超大型オフロードタイヤ運搬トレーラ」を完成させた。



「超大型オフロードタイヤ運搬トレーラ」を共同開発 縦積みを実現したスライド式格納箱が 安全で効率的な輸送を実現

山九グループの一翼を担う株式会社サンキュウ・トランスポート・関西は、山九、日本フルハーフと共同で、全幅基準に適合する「超大型オフロードタイヤ運搬トレーラ」を開発。より安全で効率的な輸送を実現している。



サンキュウ・トランスポート・関西 代表取締役社長 高本 達男 氏
サンキュウ・トランスポート・関西 運行部長 内海 基樹 氏
サンキュウ・トランスポート・関西 運行副部長 鈴木 隆 氏
サンキュウ・トランスポート・関西 ドライバー 奥本 貴史 氏
日本フルハーフ 広域営業部 第一グループ グループリーダー 最所 英巳 氏
日本フルハーフ 阪神支店 喜多 康正 氏
日本フルハーフ 開発部 第二グループ 主査 中村 斉 氏

より安全で効率的な運搬方法を確立

同社から日本フルハーフへ専用トレーラの開発を打診されたのは2011年8月のことだ。相談を受けた日本フルハーフは、早速2名の開発担当者を選抜して同社を訪問。タイヤの形状・寸法・重量、運行経路、荷役方法などについてヒヤリングを受けると共に、トレーラに関する要望を伺ったという。かくして「超大型オフロードタイヤ運搬トレーラ」の共同開発がスタートした。

開発における課題は、タイヤを縦積みできること。4本以上積載できること。荷役時と運行時の安全性を確保すること。そして平トレーラとしての汎用性を兼ね備えることだったという。従来の横積みから縦積みに変更した理由は、積載時の全幅基準をクリアするため。そうすれば日中の運行が可能となり、積み合わせを工夫すれば最大7本まで積載できる。

「専用トレーラを開発したことで、より安全に効率よくタイヤを運べるようになりました。安全、確実な運搬方法を確立することは、総合物流企業たる当社の責務と考えています。日本フルハーフの協力を得ることで、その目的を果たすことができました」

と語られたのは同社の代表取締役社長である高本達男氏である。



格納箱が左右にスライド



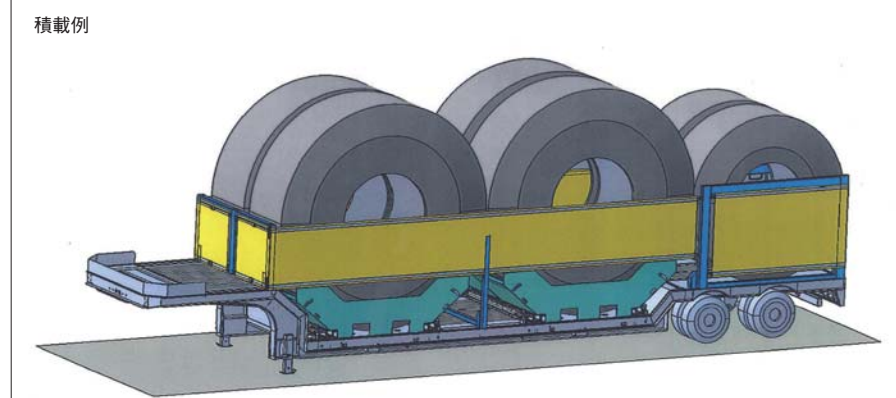
スライド式格納箱は脱着も可能

トレーラの開発にあたり、同社から様々な仕様や条件を提示された日本フルハーフは、思案を重ねた結果、スライド式の格納箱を搭載したトレーラを考案。つまり格納箱にタイヤを収納することで荷姿を安定させるわけだ。しかも格納箱を取り外せば通常の平トレーラとして、様々な製品輸送に活用することもできる。

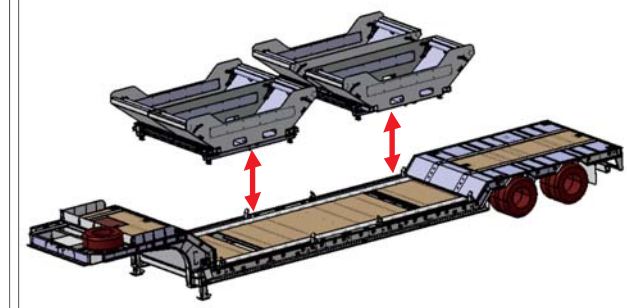
さらにタイヤを積載する格納箱は、左右にスライドできるシステムを開発。格納箱を車幅の外側へ広げることで、荷役時にフォークリフトの爪が隣のタイヤに接触する問題を解決した。また後部デッキには、小径タイヤを最大3つまで積載可能とし、積載性を大幅に向上させた。安全対策としては、トレーラの後軸にエアサスペンションを採用。運行中の振動が最小限に抑えられるほか、旋回時も安定した車両姿勢を維持することができるという。

共同開発に携わった運行副部長を務める鈴木隆氏は、完成した「超大型オフロードタイヤ運搬トレーラ」について次のように語られた。

「このトレーラは、当社が要求する条件を全て満たしています。当社の輸送ノウハウと、山九、日本フルハーフの確かな技術力が結集できたことを嬉しく思います。お客様にも大変好評ですよ」



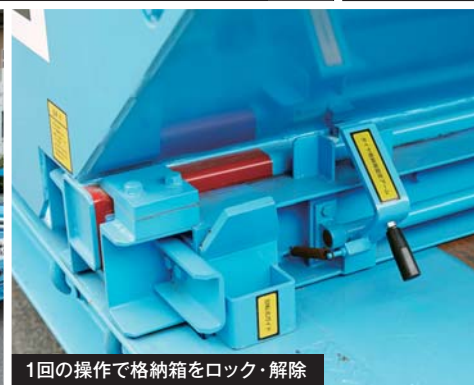
積載例
タイヤはラッシングベルトで結束／運行時は威圧感を緩和するキャンバスシート（黄色部分）を装着



格納箱はフォークリフトで脱着可能
平トレーラとして活用できる



後部デッキにもタイヤを積載可能



1回の操作で格納箱をロック・解除



後軸にエアサスペンションを採用

優れた安定走行性で高品質輸送を実現

2014年2月、同社に待望の「超大型オフロードタイヤ運搬トレーラ」が納車された。通行許可申請後、トレーラは5月から運行を開始。日中の稼働はもちろんのこと、高速道路の運行も可能となり、輸送効率が格段に向上したそうだ。また縦積みを実現したことで、以前よりスムーズにタイヤの積み下ろしができるようになったという。実際にハンドルを握るドライバーの奥本貴史氏にトレーラの感想を伺うことができた。

「心配されたローリングもなく、走行中も安定性に優れています。また格納箱がスライドされた状態だとエンジンが起動しません。安全面に配慮されていることにも感心しましたね」

また運行部長の内海基樹氏も、非常に完成度が高いと満足されていた。

「運行開始前にメンテナンス及び操作手順書を作成してドライバーや荷役スタッフを指導したこともあり、運行に支障をきたすような不具合は生じていません。出荷量が増えた際は、また日本フルハーフに増車の相談にのっていただきたいと考えています」
こうして共同開発された「超大型オフロードタイヤ運搬トレーラ」は、常にお客様に最適なソリューションを提供し続ける同社の経験豊かな現場力が活かされた車両と言えるだろう。

「超大型オフロードタイヤ運搬トレーラ」の特長

① 効率輸送を実現する優れた積載性

- ▶ 縦積み用の格納箱に加え、後部デッキにも積載スペースを確保。格納箱に4本、後部デッキに3本、最大7本まで積載可能。

② 平トレーラとして活用できる高い汎用性

- ▶ 簡単な操作でロックと解除ができる格納箱。格納箱を取り外せば様々な製品輸送が可能。※特許出願中

③ 荷役時の作業性、安全性を確保

- ▶ 荷役時に隣接するタイヤにフォークリフトの爪が接触しないように、格納箱が左右にスライドするシステムを装備。※特許出願中
- ▶ 後軸にエアサスペンションを採用することで、運行時の安定した走行を実現。

④ インターロック機能で事故防止

- ▶ 格納箱がスライドした状態でのエンジン起動をロック。